

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 1001008

政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 ・維持事業であるため、毎年実施する事業である。
基本施策	16 交通体系の整備	事業優先度	B	
単位施策	1 道路環境の向上	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	町道排水管路清掃事業	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	10 建設水道課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	排水管路清掃延長		#N/A	
事業目標	16,500m	ハード/ソフト事業区分	1 ハード事業	
住民参加 住民協働	2	関係例規・法令名		
		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	平成23年度 事業内容	平成24年度 事業内容
計 画 内 容	○雨水等による道路排水の流量確保のための 排水管路の清掃	清掃延長 L=3,300 m	清掃延長 L=3,300 m	清掃延長 L=3,300 m	清掃延長 L=3,300 m	清掃延長 L=3,300 m
計 画 事 業 費	事業費(千円)	23,000	4,600	4,600	4,600	4,600
財 源 内 訳	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	23,000	4,600	4,600	4,600	4,600
実 績 事 業 費	事業費(千円)	22,912	4,578	4,578	4,578	4,589
財 源 内 訳	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	22,912	4,578	4,578	4,578	4,589
関 連 事 項	(特定財源の詳細等) 【評価・実績】	(実施内容等) 清掃延長 L=3,490 m ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 清掃延長 L=3,450 m ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 清掃延長 L=3,450 m ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 清掃延長 L=3,450 m ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 清掃延長 L=3,450 m ※前年度評価結果 A-継続/現状維持
	第4期総合計画関連 (継続無し)	年度目標値 3,300 m	3,300 m	3,450 m	3,450 m	3,450 m
		年度達成率	100%	100%	100%	100%
		全体達成率	20%	40%	60%	80%
		事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆

事業名	町道排水管路清掃事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	佐竹邦夫
		評価者 作成者 職氏名	土木管理係長	田原慎也

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	道路利用者、道路	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	排水管路清掃延長		
【抱える課題やニーズは】	豪雨等による道路、家屋等への浸水。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	道路排水の流量の確保。		① 排水管路清掃延長/排水管路清掃延長の実績	目標年度	平成24年度
				目標値	3,450 m
実績値	3,450 m				
達成度	100.0 %				
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	円滑な排水を促し、豪雨等による通行の確保、家屋等への浸水防止。	②	目標年度	年度	
			目標値		
			実績値		
達成度	#DIV/0! %				
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	①民間委託により実施	排水管路の清掃は、見積により1m当たりの単価を決め、受注業者調査結果を参考の上、排水管路清掃路線を決定し実施した。			

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	道路排水の流量を確保することは、快適な通行や浸水防止からも町が担う必要がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施したことにより、円滑な排水が促され、豪雨による家屋等への浸水防止が図られた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	受注業者の調査により、排水管路の閉塞箇所の特定ができ、適切な排水管路の清掃ができたことは、事業費の抑制となり効率的であると判断する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

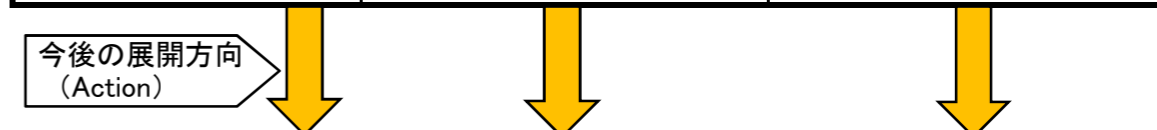
公平	判断の理由	道路排水の流量確保による快適な通行や浸水防止を実施したことは、不特定多数の道路利用者に対して公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
円滑な排水と浸水防止のためには、今後も計画通り事業を進めることが適当であると判断する。		



継続/現状維持		
道路排水の流量確保は円滑な排水と浸水防止のためには、必要不可欠であることから、継続、現状維持が適当であると判断する。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 ○休止 ○廃止